



いわて生協 復興支援活動ニュース

2018年4月号

2018年3月26日発行
いわて生協 組合員活動チーム
電話：019-603-8299
FAX：019-687-1117

東日本大震災から7年目、3月11日の取り組み ～ハートタペストリーに思いを込めて～

- ▶ いわて生協では、一日も早い復興を願い、この7年間、被災地・被災者に寄り添った様々な支援活動を、組合員と常勤者の協力の力、そして全国の生協のみなさんからの支援で続けてきました。
3月11日には、内陸の店舗で募金活動や復興商品の販売会を行いました。



震災支援募金の取り組みの様子



タペストリー作りの様子

- ▶ 大勢の方がハートのシールに「忘れてないよ」の思いを込めて名前を書いて、タペストリーを作りました。完成したものはつなぎ合わせて、沿岸のコープ総代会で展示いたします。

支援活動だより 「震災の記憶を語り継ぐ」

盛南コープ理事 佐藤 雅子

2018年1月17日。その日の朝は少し早く目が覚めてテレビをつけました。まだ薄暗い中、神戸の追悼会場では人々が約7千本の竹灯籠（たけどうろう）を前に祈りを捧げている様子が映し出されていました。そう、23年前のこの日に阪神淡路大震災がおきたのです。今でも鮮明に思い出します。娘がまだお腹にいました。その日の朝もテレビをつけて初めて大きな地震があったことを知りました。

23年経った今でも家族や大切な人を失った悲しみは癒えることがなく、毎年鎮魂の行事が続いています。中には震災の日に生まれた人やその後生まれた若い方たちも自分の祖父母、父母たちの体験を忘れないように語り継いでいこうとしていました。

昨年、コープこうべ理事長の山口一史さんのお話を聞く機会がありました。震災で失われたコミュニティをどう再建してきたのか、私たちはこれからどういう活動をしていけばいいのかを考えるよい機会をいただきました。

その中で活動を続けていくためには次世代の方々と一緒にとりくむことが大切だけれど、後継者（これからは活動を続けていくひと）を育てていくことが課題だということに、やはりそうかと思いました。もうすぐ3月11日。東日本大震災から7年目を迎えます。家族や親類、大切な人を失った悲しみは癒えることはありません。だからこそこの悲しい体験を風化させることなく、次の世代に語り継いでいくことが大切です。

私たち一人一人が自分にできることを考え、被災地に寄り添った取り組みを続けていくこと、忘れないことが被災された方に勇気と希望をあたえると信じて、これからも支援活動を続けていきたいと思います。



ふれあいサロン



今月のサロンの様子と ボランティアの声



<宮古市 実田仮設住宅>

<陸前高田市 滝の里仮設住宅>



みんなで葉っぱのコースター作り。



中川愛子さんと山上衛さんのお話と民謡・踊りをみんなで鑑賞。手拍子や一緒に歌ったり楽しみました。

「ここに来ると楽しくてたのしみだ」「家にいるとテレビと話している」西ヶ丘のサロンは2階の部屋で行っているの、みなさん「ヨイショ、ヨイショ」と声をかけ合い登ってきます。年齢を感じさせず、みなさん元気で若いです！
(宮古市 コープ西ヶ丘サロン)

福田こうへいのDVDは鑑賞ならぬBGM状態楽しい！嬉しい！ありがたい！の声。こんなに笑ったり、しゃべったりが日常にないとの事。それがここに来るとある!!と喜んでもらえるのが最高に嬉しく思います。
(大槌町 大槌第10仮設住宅)

食の支援

<ふれあいサロン>

4会場で食の支援を行いました(34人参加)



<大槌町 第5仮設住宅>
花まんじゅう作り

<生協料理サロン>

味の素料理サロンを開催。

2月27日釜石市大町復興住宅2号棟 集会所
参加者は7名とスタッフ6名。

3月13日宮古市鴨崎災害公営住宅

参加者は6名とスタッフ7名と社協さん1名。
参加された皆様に大変喜んでいただけました。



キット作り

●●● キット作りありがとう ●●●

- ・ 干支の犬
(釜石 ふたばこ〜ぷ委員会、釜石 吉里吉里こ〜ぷ委員会)
- ・ なべつかみ(東いわいコープ)
- ・ 布バッグ(ペコぼらくらぶ)
- ・ ウォレット(ちょボラくらぶ花巻)
- ・ パクン小物入れ(岩手郡 菓子こ〜ぷ委員会)
- ・ ハートのシール切り(盛岡北 前九年こ〜ぷ委員会)
- ・ 布カット(釜石 大畑松倉こ〜ぷ委員会)
- ・ なべしき(盛岡南 パセリこ〜ぷ委員会)

●●● キットの在庫情報 ●●●

- ・ ハギレとフェルトの小さい小物入れ(大・小)
- ・ メガネケース
- ・ 葉っぱのコースター
- ・ 牛乳パックのカゴ
- ・ ランチョンマット
- ・ 鍋しき
- ・ 布バッグ
- など

※詳しくは事務局までお問い合わせください

バスボランティア



通算173回目、2018年度1回目のバスボラが3月25日（日）に行われました。この時期恒例の「田老町漁協」でのわかめの箱詰め作業です。2014年からはじめた田老町漁協への応援。慣れた方も多く順調に進みました。1年ぶりに訪れた田老の街の様子も昨年と変わり、驚いていた方も。このあと、3月31日（土）、4月1日（日）も田老町漁協で活動します。



■高田・大槌での活動について

2018年度のバスボラ日程は次の4回の予定です。

大槌	5月12日（土）	9月 2日（日）
高田	7月21日（土）	10月14日（日）

重要!

バスボラ・ふれあいサロンボランティア参加のみなさまへ

天昌寺組合員センター（旧介護・福祉センター“あい”）

駐車場について

盛岡地区のボランティアのみなさんの集合場所となっている、天昌寺の介護・福祉センター“あい”は、4月より長橋町へ移転します。

ボランティアのみなさんの集合場所として、当面、駐車場は使えますが、4月より次の2点が変更となりますので、ご注意ください。

■ボランティア使用时以外は駐車場を施錠します！

- ・バスボラの方は6時に駐車場をあけますので、6時過ぎにお越し下さい。
- ・サロンボランティアは、出発10分前にお越し下さい。
- ・どちらも、バス帰着後10分で施錠いたします。

■トイレは使えません！

- ・建物には入れなくなりますので、トイレは使用できません。

以上、2点よろしく願いいたします。

支援を
ありがとう

お菓子のご支援

- ・「コープいしかわ」さん
- ・「コープみらい」さん
- ・「京都生協」さん
- ・「コープかがわ」さん



布のご支援

- ・「おおさかパルコープ」さん

現地でのご支援

- ・2/23(金)大槌
- 「医療生協さいたま」さん